

平成 24 年 10 月 22 日 女は背中語るもの

コウノトリは雌雄の判別がとても難しい鳥です。ライオンみたいに、オスにはたてがみがあるとか、クジャクみたいに、超派手だとかあるといいんですけど、同じ制服を着ているみたいに地味です。



というわけでふっくん・さっちゃんは見ただ目では全く区別がつかないので足環をつけているのはご存知だと思いますが、**背中を向けて足が隠れていると、もうお手上げです。困った困った。**

ところが、**期間限定の見分け方があるのです。**

コウノトリは春先から秋にかけて羽根が抜けては生え変わるので、背中の白黒模様パターンが生まれます。黒い羽根が抜けて、背中にポッと白い模様が出来たように見えることも。



**そんなの、羽ばたいてまた羽根をたたんでしまえば新しい模様になっちゃうんじゃないの？**

と思われるかもしれませんが、意外とこのパターンはしばらく残ります。

今、さっちゃんの左腰には黒い羽根が抜けたせいで白いラインができています。



**ふっくん**



**さっちゃん**

足環が全然見えないとき、白いラインがあるかないかで、さっちゃんかそうでないかを区別しています。今のところ。



**そんなの、また羽根が生えてきたら分からなくなっちゃうんじゃないの？**

その通り！だから今だけ、**期間限定**です。